

# ダイワ米国株主還元株ファンド

&lt;2711&gt;

追加型投信／海外／株式  
日経新聞掲載名：米株主無

第16期 2023年10月18日決算

## ■ 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、継続的に株主還元を行なう米国企業の株式へ投資することで、信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

|       |         |          |
|-------|---------|----------|
| 第16期末 | 基 準 価 額 | 15,043円  |
|       | 純資産総額   | 4,725百万円 |
| 第16期  | 騰 落 率   | 13.2%    |
|       | 分 配 金   | 600円     |

(注) 謄落率は分配金（税込み）を含めて計算したものです。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)  
**0120-106212**

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

◇TKU0271120231018◇

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

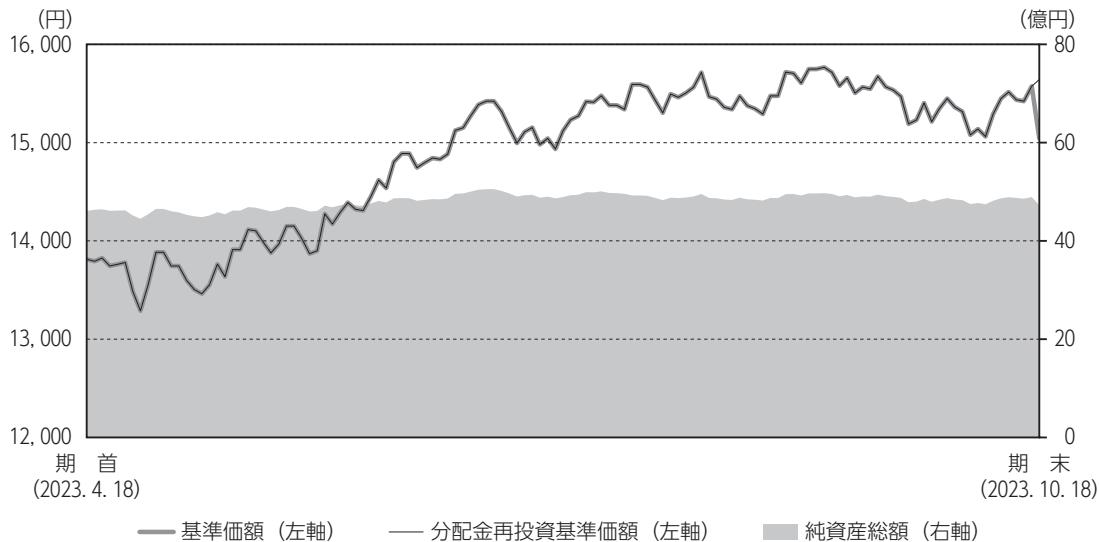
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ファンド検索欄にファンド名を入力 → リストから当ファンドを選択 → 運用報告書(全体版)を選択



# 運用経過

## 基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

\*分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\*分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### ■ 基準価額・騰落率

期 首：13,813円

期 末：15,043円（分配金600円）

騰落率：13.2%（分配金込み）

### ■ 基準価額の主な変動要因

「U.S.トータル・イールド・ファンド（トータル・イールド・クラス）」に投資した結果、米ドルが対円で上昇（円安）したことや米国株式市況の上昇がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

※U.S.トータル・イールド・ファンド（トータル・イールド・クラス）：UBS（CAY）U.S.トータル・イールド・ファンド（U.S.トータル・イールド・クラス）

## 1万口当りの費用の明細

| 項目      | 当期<br>(2023. 4. 19～2023. 10. 18) |         | 項目の概要   |
|---------|----------------------------------|---------|---|
|         | 金額                               | 比率      |   |
| 信託報酬    | 100円                             | 0.674%  | 信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率<br><b>当作成期中の平均基準価額は14,898円です。</b>               |
| (投信会社)  | (33)                             | (0.220) | 投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価                       |
| (販売会社)  | (66)                             | (0.440) | 販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価                         |
| (受託会社)  | (2)                              | (0.014) | 受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価  |
| 売買委託手数料 | —                                | —       | 売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数<br>売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 |
| 有価証券取引税 | —                                | —       | 有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数<br>有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金  |
| その他費用   | 1                                | 0.004   | その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数   |
| (監査費用)  | (1)                              | (0.004) | 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用   |
| 合計      | 101                              | 0.678   |   |

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

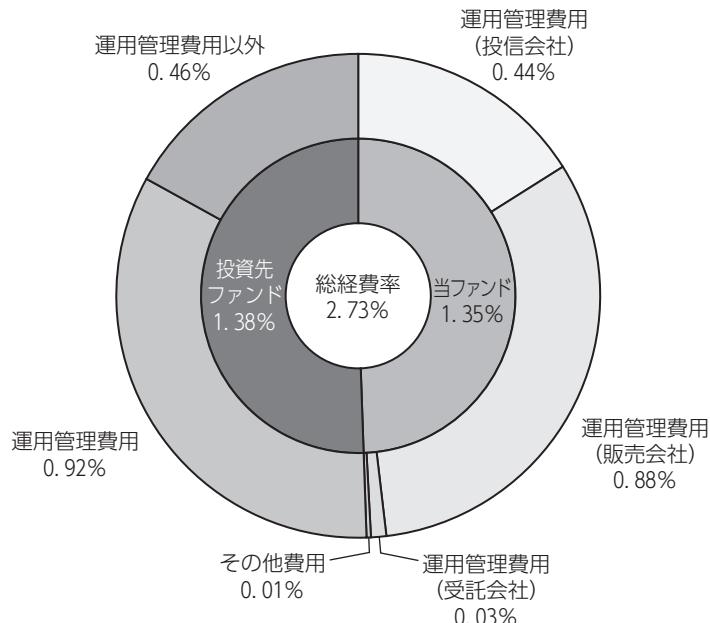
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

### ■総経費率

当成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.73%です。



|                      |       |
|----------------------|-------|
| 総経費率 (① + ② + ③ )    | 2.73% |
| ①当ファンドの費用の比率         | 1.35% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率   | 0.92% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.46% |

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

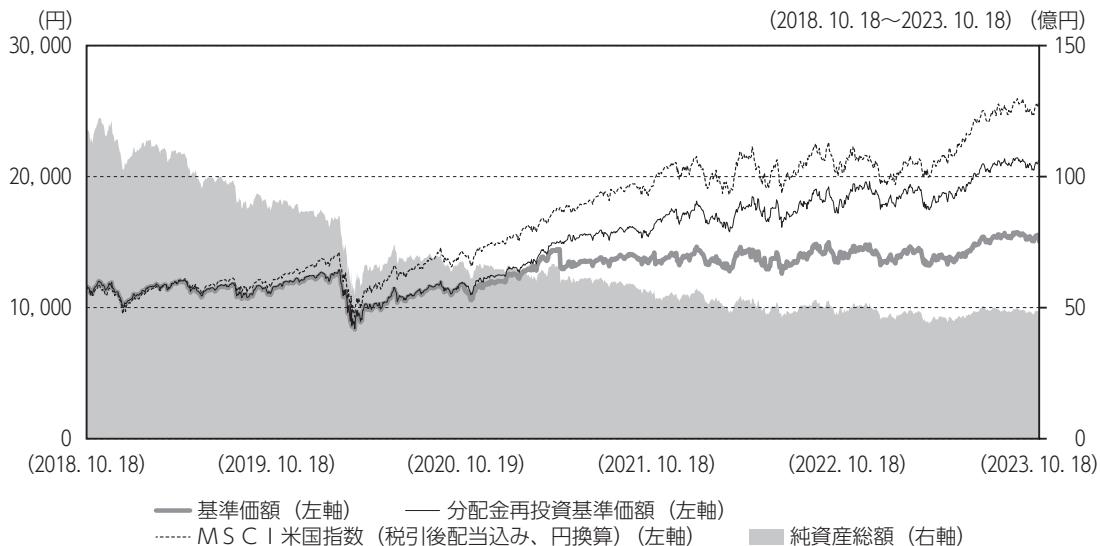
(注5) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指標は、2018年10月18日の基準価額をもとに指指数化したものです。

\*参考指標は MSCI 米国指数 (税引後配当込み、円換算) です。参考指標は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指標として記載しております。

|  | 2018年10月18日<br>期初 | 2019年10月18日<br>決算日 | 2020年10月19日<br>決算日 | 2021年10月18日<br>決算日 | 2022年10月18日<br>決算日 | 2023年10月18日<br>決算日 |
|--|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 基準価額<br>(円)                            | 11,646            | 11,524             | 11,431             | 13,318             | 13,831             | 15,043             |
| 期間分配金合計 (税込み)<br>(円)                   | —                 | 100                | 350                | 2,400              | 950                | 990                |
| 分配金再投資基準価額の<br>騰落率 (%)                 | —                 | △0.2               | 2.2                | 38.6               | 11.1               | 16.3               |
| MSCI 米国指数 (税引後<br>配当込み、円換算) 騰落率<br>(%) | —                 | 4.4                | 16.3               | 41.0               | 5.9                | 21.2               |
| 純資産総額<br>(百万円)                         | 11,782            | 9,080              | 6,536              | 5,296              | 4,813              | 4,725              |

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入しています。

(注2) MSCI 米国指数 (税引後配当込み、円換算) は、MSCI Inc. (「MSCI」) の承諾を得て、MSCI 米国指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに大和アセットマネジメントが円換算したものであります。MSCI 米国指数 (税引後配当込み、米ドルベース) は、MSCI が開発した指標です。同指標に対する著作権、知的所有権その他一切の権利は MSCI に帰属します。また MSCI は、同指標の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。本ファンドは、MSCI によって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCI は本ファンドまたは本ファンドが基づいていたインデックスに関する責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

(注3) 海外の指標は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指標は直近で知り得るデータを使用しております。

※参考指標を「MSCI 米国指数 (配当込み、円換算)」から「MSCI 米国指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

## 投資環境について

(2023. 4. 19 ~ 2023. 10. 18)

### ■米国株式市況

米国株式市況は、大幅に上昇した後、金利上昇を受けて下落しました。

米国株式市況は、当作成期首より、地方銀行の経営不安や米国の債務上限問題への懸念が上値を抑えた一方、予想を上回る企業決算の発表が好感され、底堅い展開となりました。2023年5月下旬からは、A I（人工知能）関連の半導体企業の強気見通しや債務上限問題の解決、インフレ率の鈍化などが好感され、大幅に上昇しました。8月以降は、米国国債の増発やF R B（米国連邦準備制度理事会）の政策金利見通しの引き上げ、政府機関の閉鎖懸念などから長期金利が大幅に上昇したことを受け、株価は下落しました。10月に入ると、つなぎ予算の成立によって政府機関の閉鎖が回避され、やや反発して当作成期末を迎えました。

### ■米ドル円為替相場

米ドル為替相場は、対円で上昇しました。

米ドル対円為替相場は、当作成期首より、米国経済指標の上振れなどを背景に米国金利が上昇するに連れて、上昇しました。2023年6月に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）が政策金利見通しを引き上げた一方で、日銀は現状の金融緩和政策の維持を決定したことなどから、月末にかけて米ドルは対円での上昇幅を拡大しました。7月は、日本の政府要人等による円安けん制発言や日銀の政策運営の柔軟化決定を受け、米ドルは対円で下落（円高）しました。8月には、米国金利の上昇による日米金利差の拡大が意識され、米ドルは対円で上昇しました。当作成期末にかけては、米国金利が大きく上昇したことや、日銀が緩和的な金融政策の維持を発表したことから、米ドルは対円で継続して上昇しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

引き続き、「U.S.トータル・イールド・ファンド（トータル・イールド・クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。通常の状態で、「U.S.トータル・イールド・ファンド（トータル・イールド・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

### ■U.S.トータル・イールド・ファンド（トータル・イールド・クラス）

引き続き、米国の大型・中型株の中から、株主還元比率の水準や持続性の優れた企業を選定し、セクター分散等を勘案しながら幅広く投資を行ってまいります。

### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

## ポートフォリオについて

(2023.4.19～2023.10.18)

### ■当ファンド

「U.S.トータル・イールド・ファンド（トータル・イールド・クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資しました。「U.S.トータル・イールド・ファンド（トータル・イールド・クラス）」への投資割合を高位に維持しました。

### ■U.S.トータル・イールド・ファンド（トータル・イールド・クラス）

米国の大型・中型株の中から株主還元の積極性や持続性が優れた企業を選定し、セクター分散等を勘案した上で約100銘柄に等金額投資をして運用を行いました。当作成期の株式組入比率はおおむね90%以上の高位を維持しました。業種構成は、配当利回りおよび自社株買い比率の高い資本財・サービスや一般消費財・サービス、素材などの組み入れが、MSCI米国指数との対比で高位となりました。一方で、株主還元比率が低い情報技術やヘルスケア、コミュニケーション・サービスなどは低位となりました。個別銘柄の組入比率は等金額投資の結果、すべての保有銘柄でおおむね1%前後となりました。

### ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、コール・ローン等による運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

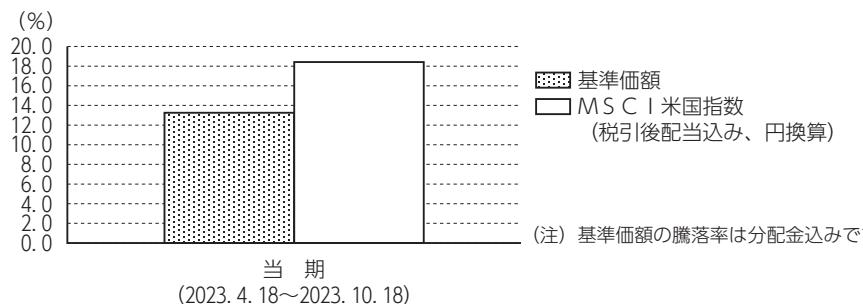
当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（MSCI米国指数（税引後配当込み、円換算））との騰落率の対比です。

当作成期のパフォーマンスは、参考指数のパフォーマンスを下回る結果となりました。

業種別では、生成AI（人工知能）の普及期待に後押しされたコミュニケーション・サービスや情報技術のアンダーウエートや、中国経済の回復が力強さを欠くことが重荷となった素材のオーバーウエートなどがマイナス要因となりました。一方で、金利上昇で大きな売り圧力に押された公益事業のアンダーウエートや、原油価格に連れ高したエネルギーのオーバーウエートなどはプラス要因となりました。

業種内の銘柄選択では、底堅い動きを示す米国経済を追い風に業績を伸ばした建築資材関連銘柄や、長期金利の上昇が収益改善につながった保険会社がプラス要因となったものの、AI向け半導体関連銘柄やソフトウェア関連銘柄などがマイナス要因となり、銘柄選択効果は全体でパフォーマンスにマイナス要因となりました。



## 分配金について

当成期の1万口当たり分配金（税込み）は下記「分配原資の内訳（1万口当たり）」の「当期分配金（税込み）」欄をご参照ください。

収益分配金の決定根拠は下記「収益分配金の計算過程（1万口当たり）」をご参照ください。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

| 項 目                  | 当 期                        |  |
|----------------------|----------------------------|--|
|                      | 2023年4月19日<br>～2023年10月18日 |  |
| <b>当期分配金（税込み）(円)</b> | <b>600</b>                 |  |
| 対基準価額比率 (%)          | 3.84                       |  |
| 当期の収益 (円)            | 600                        |  |
| 当期の収益以外 (円)          | —                          |  |
| 翌期繰越分配対象額 (円)        | 5,043                      |  |

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。

(注4) 投資信託の計算上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

### ■収益分配金の計算過程（1万口当たり）

| 項 目                         | 当 期        |
|-----------------------------|------------|
| (a) 経費控除後の配当等収益             | ✓ 520.84円  |
| (b) 経費控除後の有価証券売買等損益         | ✓ 1,268.98 |
| (c) 収益調整金                   | 1,245.87   |
| (d) 分配準備積立金                 | 2,607.37   |
| (e) 当期分配対象額 (a + b + c + d) | 5,643.07   |
| (f) 分配金                     | 600.00     |
| (g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)       | 5,043.07   |

(注) ✓ を付した該当項目から分配金を計上しています。



# 今後の運用方針

## ■当ファンド

引き続き、「U.S.トータル・イールド・ファンド（トータル・イールド・クラス）」と「ダイワ・マネーアセット・マザーファンド」に投資します。通常の状態で、「U.S.トータル・イールド・ファンド（トータル・イールド・クラス）」への投資割合を高位に維持することを基本とします。

## ■U.S.トータル・イールド・ファンド（トータル・イールド・クラス）

引き続き、米国の大型・中型株の中から、株主還元比率の水準や持続性の優れた企業を選定し、セクターファンダム等を勘案しながら幅広く投資を行ってまいります。

## ■ダイワ・マネーアセット・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

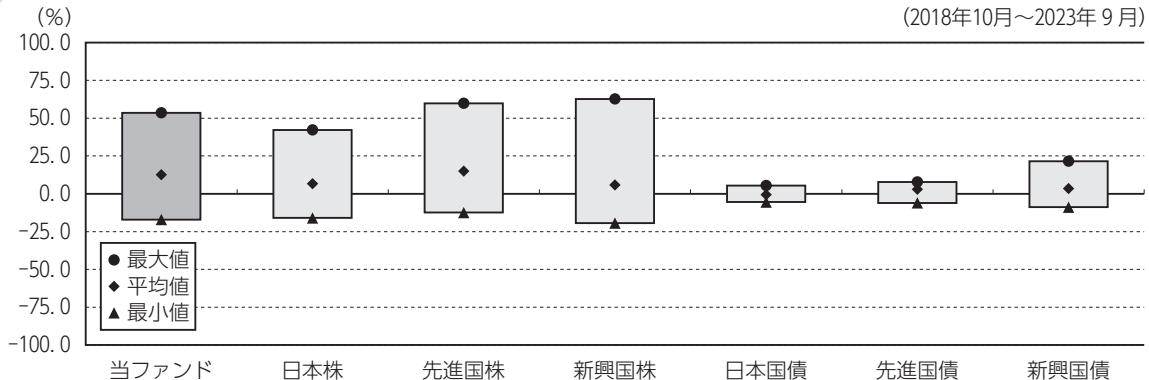


# 当ファンドの概要

|                     |  |   |
|---------------------|--|---|
| 商 品 分 類             | 追加型投信／海外／株式  |   |
| 信 託 期 間             | 2015年10月20日～2025年10月17日  |   |
| 運 用 方 針             | 信託財産の成長をめざして運用を行ないます。  |   |
| 主要 投資 対象            | 当ファンド  | イ. ケイマン籍の外国投資信託「UBS (CAY) USトータル・イールド・ファンド (USトータル・イールド・クラス)」(以下「USトータル・イールド・ファンド (トータル・イールド・クラス)」といいます。) の受益証券 (円建)<br><input type="checkbox"/> ダイワ・マネーアセット・マザーファンドの受益証券 |
|                     | ダイワ・マネーアセット・マザーファンド  | 円建ての債券  |
| 当 フ ア ン ド の 運 用 方 法 | <p>①主として、USトータル・イールド・ファンド (トータル・イールド・クラス) の受益証券への投資を通じて、継続的に株主還元を行なう米国企業の株式に投資することで、信託財産の成長をめざします。<br/>※当ファンドにおいて、株主還元とは、配当支払いおよび自社株買いをいいます。</p> <p>②当ファンドは、USトータル・イールド・ファンド (トータル・イールド・クラス) とダイワ・マネーアセット・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、USトータル・イールド・ファンド (トータル・イールド・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③USトータル・イールド・ファンド (トータル・イールド・クラス) では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行いません。</p> |   |
| マザーファンド の 運 用 方 法   | <p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年末満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>   |   |
| 分 配 方 針             | 分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。  |   |



# 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示できません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株………配当込みTOP1X

先進国株………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債………NOMURA-BP1国債

先進国債………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指數について

●配当込みTOP1Xの指数值および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指數の算出・指數値の公表・利用など同指數に関するすべての権利・ノウハウおよび同指數にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指數の指數値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指數です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[<https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html>]

●NOMURA-BP1国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指數で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BP1国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指數の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等にに関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指數はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指數に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指數は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指數を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

（注）海外の指數は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



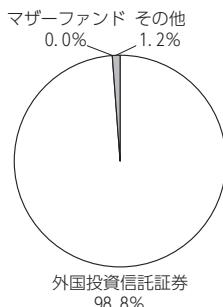
# ファンダデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

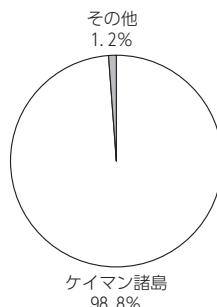
### 組入ファンド等

|                                 | 比率    |
|---------------------------------|-------|
| USトータル・イールド・ファンド（トータル・イールド・クラス） | 98.8% |
| ダイワ・マネーアセット・マザーファンド             | 0.0   |
| その他                             | 1.2   |

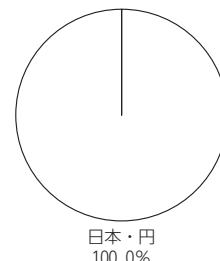
### 資産別配分



### 国別配分



### 通貨別配分



(注1) 上記データは2023年10月18日現在のものです。

(注2) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注3) 国別配分において、キャッシュ部分については「その他」に含めています。

\*当ファンドは、上記組入ファンドを通じて実質的な運用を行っています。次ページの「組入上位ファンドの概要」には、組入上位3ファンドまでのファンドの内容を掲載しています。

## 純資産等

| 項目         | 当期末            |
|------------|----------------|
|            | 2023年10月18日    |
| 純資産総額      | 4,725,269,018円 |
| 受益権総口数     | 3,141,159,566口 |
| 1万口当たり基準価額 | 15,043円        |

\*当期中における追加設定元本額は56,395,299円、同解約元本額は250,322,571円です。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧いただけます。

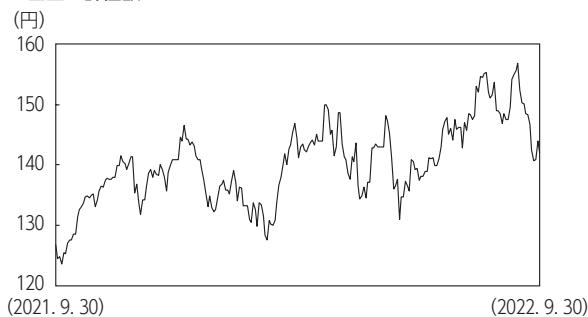
## 組入上位ファンドの概要

### ◆U.S.トータル・イールド・ファンド（トータル・イールド・クラス）

(作成対象期間 2021年10月1日～2022年9月30日)

※直近で入手可能な Financial Statements 作成期間です。

#### ■1口当たり評価額



(注1) 1口当たり評価額は、分配金を再投資したものとみなして計算しています。

(注2) 国内の営業日の評価額を記載しています。

#### ■1口当たりの費用の明細

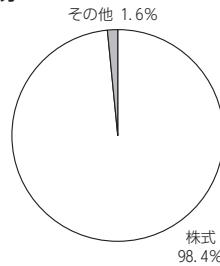
当ファンドの単位口数当たりの費用のデータは取得できないため、記載しておりません。

#### ■組入上位銘柄

| 銘柄名                      | 国  | 比率    |
|--------------------------|----|-------|
| EMCOR Group, Inc.        | 米国 | 1.13% |
| Bristol-Myers Squibb Co. | 米国 | 1.13  |
| AutoZone, Inc.           | 米国 | 1.13  |
| Allstate Corp.           | 米国 | 1.12  |
| General Mills, Inc.      | 米国 | 1.12  |
| Medpace Holdings, Inc.   | 米国 | 1.12  |
| Marathon Petroleum Corp. | 米国 | 1.09  |
| Willis Towers Watson PLC | 米国 | 1.09  |
| Aon PLC Class A          | 米国 | 1.09  |
| Home Depot, Inc.         | 米国 | 1.09  |
| 組入銘柄数                    |    | 101銘柄 |

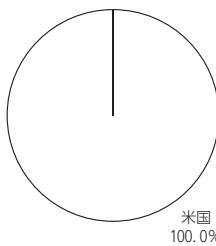
(注) 比率は株式ポートフォリオに対する比率です。

#### ■資産別配分



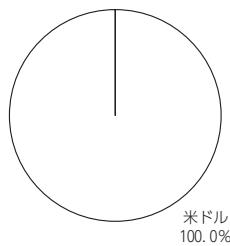
(注) 比率は純資産に対する比率です。

#### ■国別配分



(注) 比率は株式ポートフォリオ全体に対する比率です。

#### ■通貨別配分



(注) 比率は株式ポートフォリオ全体に対する比率です。

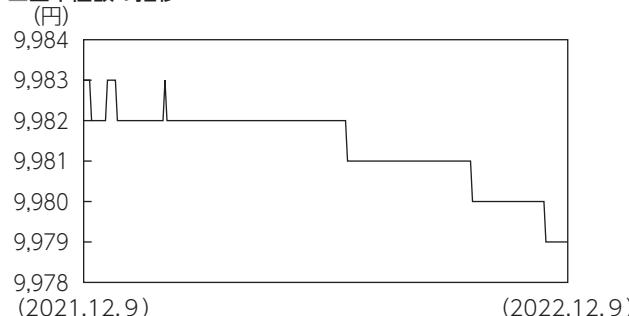
\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、作成対象期間末時点のデータです。

\*組入上位銘柄、資産別配分、国別配分、通貨別配分のデータは、「U.S.トータル・イールド・ファンド」の運用会社等からの情報提供をもとに作成したものであり、運用報告書（全体版）の情報とは異なる場合があります。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧いただけます。

◆ダイワ・マネーアセット・マザーファンド（作成対象期間 2021年12月10日～2022年12月9日）

■基準価額の推移



■1万口当りの費用の明細

| 項目      | 金額 |
|---------|----|
| 売買委託手数料 | -円 |
| 有価証券取引税 | -  |
| その他費用   | -  |
| 合計      | -  |

■組入資産

2022年12月9日現在、有価証券等の組み入れはありません。

(注1) 基準価額の推移、1万口当りの費用の明細は組入ファンドの直近の作成対象期間のものです。

(注2) 1万口当りの費用の明細における費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。  
費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。また、円未満を四捨五入してあります。

\*組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。